新国立劇場

新国立劇場 2026/2027 シーズンオペラ

リヒャルト・シュトラウス
サ ロ メ

Salome / Richard Strauss

2027年2月6日(土)～ 2月13日(土)

会場:新国立劇場オペラパレス　2026年11月14日(土) 10:00～ 前売開始



2011年公演より 撮影:三枝近志

妖艶に舞ったサロメが求めたものは・・・官能と倒錯の衝撃作！

オスカー・ワイルドの耽美的、退廃的な戯曲を、リヒャルト・シュトラウスが極彩色の音楽でオペラ化し、大反響を呼んだスキャンダラスな傑作。約 1 時間 40 分の舞台に、豊麗で甘美な旋律と大胆な不協和音が凝縮されており、緊張感溢れる濃密なドラマには息をつく暇もありません。クライマックスの「7 つのヴェールの踊り」は、サロメが身にまとったヴェールを剝ぎ取りながら妖艶な踊りを披露する、官能美と緊迫感に満ちた見せ場です。妖しくも美しいエファ―ディング演出で『サロメ』の魅力を存分にお伝えします。

タイトルロールは今夏の話題を呼んだヘドヴィグ・ハウゲルドが再登場！

指揮は沼尻竜典、サロメ役には 26 年『エレクトラ』でクリソテミスを歌い美声で圧倒したノルウェーの若手ソプラノ、ヘドヴィグ・ハウゲルドが登場。ヘロデは藤倉大作曲『アルマゲドンの夢』世界初演で主演を務め圧倒的共感を呼んだピーター・タンジッツ、ヨハナーンにリトアニアのバス・バリトン、コスタス・スモリギナス、ヘロディアスは前回サロメを歌い豊かな声とダイナミックな表現が絶賛されたアレクサンドリーナ・ペンダチャンスカです。

＜資料のご請求、取材のお問い合わせ＞
新国立劇場　制作部オペラ　広報担当:高梨木綿子
Tel:03-5352-5733／Fax:03-5352-5709／E-Mail:　takanashi_y1307@nntt.jac.go.jp

息を呑む凝縮の100分間！一途すぎる思いが狂気へと変わる･･･



オスカー・ワイルドの耽美的、退廃的な戯曲を、リヒャルト・シュトラウスが極彩色の音楽でオペラ化し、大反響を呼んだスキャンダラスな傑作。その背徳的な内容と衝撃に、ウィーンでは上演禁止の措置が取られるなどヨーロッパ中のセンセーションとなりました。約 100 分間の舞台に、豊麗で甘美な旋律と大胆な不協和音が凝縮されており、緊張感溢れる濃密なドラマに息をつく暇もありません。クライマックスの「7つのヴェールの踊り」は、サロメが身にまとったヴェールを剝ぎ取りながら妖艶な踊りを披露する、官能美と緊迫感に満ちた見せ場です。



新国立劇場の『サロメ』は故アウグスト・エファーディング演出、ミュンヘンのバイエルン州立歌劇場で上演されてきた名舞台で、舞台中央に巨大な古井戸を据えた、迫力と妖しさ漂う秀作です。音楽の力をストレートに伝える舞台は、オペラファンに留まらず、オーケストラファンの皆様にもお勧めの作品です。

沼尻竜典の指揮のもと旬な歌手陣が勢揃い！



指揮はリヒャルト・シュトラウスを得意とする沼尻竜典。注目のサロメ役は、26 年『エレクトラ』で新国立劇場へデビューし、「強い声と凄絶なエネルギー」「若い声のパワーで圧倒」「分厚い管弦楽をゆうに超える」「若くてリリックな性格にふわさしい旬の輝き」と絶賛を集めたノルウェーのソプラノ、ヘドヴィグ・ハウゲルドが歌います

ヘロデには 2020 年に藤倉大作曲『アルマゲドンの夢』に主演し圧倒的共感を呼んだピーター・タンジッツ、ヨハナーンにリトアニアのバス・バリトン、コスタス・スモリギナス、ヘロディアスは前回サロメを歌い豊かな声とダイナミックな表現が絶賛されたアレクサンドリーナ・ペンダチャンスカが登場します。

「サロメ」ダイジェスト映像

https://www.youtube.com/watch?v=KqKpTQZakpo

＜あらすじ＞

紀元 30 年ごろ、領主ヘロデの宮殿。ヘロデの寵愛を一身に受ける後妻の娘サロメは、庭の古井戸に幽閉されている預言者ヨハナーンに夢中で、自身を慕う衛兵隊長ナラボートに彼を連れ出すよう命ずる。ヨハナーンはサロメにキスを求められるが、拒否して古井戸に戻る。舞の褒美に望みのものを与えるというヘロデに、7つのヴェールを裸身にまとい妖艶な踊りを披露するサロメ。舞い終えたサロメが要求したのは、ヨハナーンの首だった。



2026-2027 リヒャルト・シュトラウス三大傑作観劇キャンペーン実施中！

2026 年から 2027 年にかけて新国立劇場はドイツ・後期ロマン派オペラの頂点、リヒャルト・シュトラウス三大傑作－－『エレクトラ』『サロメ』『ばらの騎士』－－を上演します。これを記念し、公演ご招待券やバックステージツアー参加権、グッズが当たるキャンペーンを実施しています。エントリーは1作品から可能です。ご来場作品数によって当選確率がアップ！ぜひご参加ください。

詳細： https://www.nntt.jac.go.jp/opera/news/detail/6_031609.html



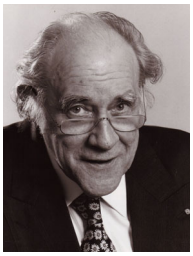
＜主要キャスト・スタッフプロフィール＞

【指揮】沼尻竜典 NUMAJIRI Ryusuke



神奈川フィルハーモニー管弦楽団音楽監督、トウキョウ・ミタカ・フィルハーモニア音楽監督、びわ湖ホール桂冠芸術監督。1990 年ブザンソンコンクール優勝。ロンドン響、モントリオール響、ベルリン・ドイツ響、ベルリン・コンツェルトハウス管、フランス放送フィル、ミラノ・ヴェルディ響など世界各国のオーケストラに客演。国内では NHK 交響楽団を指揮してデビュー以来、多くのポストを歴任。ドイツではリューベック歌劇場音楽総監督を務め、数々の名演を残す。ケルン歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン・コーミッシェ・オーパー、バーゼル歌劇場、シドニー・オペラハウスなどへも客演。16 年間芸術監督を務めたびわ湖ホールでは、『ニーベルングの指環』を含め、ワーグナーの主要 10 作品を指揮した。2014 年、横浜みなとみらいホールの委嘱でオペラ『竹取物語』を作曲・初演。出光音楽賞、渡邉暁雄音楽基金音楽賞、齋藤秀雄メモリアル基金賞、毎日芸術賞、芸術選奨文部科学大臣賞、ENEOS 音楽賞洋楽部門本賞などを受賞。紫綬褒章受章。新国立劇場では『カルメン』『フィガロの結婚』『鹿鳴館』『トスカ』『フィレンツェの悲劇／ジャンニ・スキッキ』『修道女アンジェリカ／子どもと魔法』、高校生のためのオペラ鑑賞教室『カルメン』『トスカ』『ドン・パスクワーレ』を指揮している。

【演出】アウグスト・エファーディング August EVERDING



1928 年ドイツのノルトライン＝ヴェストファーレン州ボットロップに生まれる。ボン大学及びミュンヘン大学で哲学、ドイツ文学、劇場学を修める。ミュンヘン室内劇場で演出助手として研鑽を積み、その後各地で演出家として活躍。59 年ミュンヘン室内劇場の上席舞台監督、63 年に同劇場監督、73 年にはハンブルク州立歌劇場監督、77 年にバイエルン州立歌劇場の劇場監督となり、82 年には同劇場の総支配人に就任、93 年にバイエルン州テアトロアカデミー総監督兼理事長となる。99 年ミュンヘンで没する。生前は演出家としても精力的に活動し、バイロイト、ウィーン、ニューヨークなど各地でオペラ演出に携わった。主な演出作品にバイロイト音楽祭『トリスタンとイゾルデ』などがある。

【サロメ】ヘドヴィグ・ハウゲルド（ソプラノ） Hedvig HAUGERUD



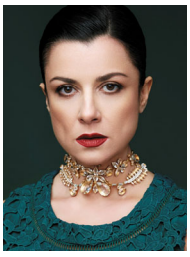
ノルウェー音楽アカデミーを卒業後、パリ国立高等音楽院、コペンハーゲンのオペラ・アカデミーで研鑽を積んだ。類まれノルウェー音楽アカデミーを卒業後、パリ国立高等音楽院、コペンハーゲンのオペラ・アカデミーで研鑽を積んだ。類まれな色彩ある声、力強さ、そして個性で、キャリア初期から際立った存在感を示している。2023年パリ・オペラ座コンクール第2位、ミルヤム・ヘリン国際声楽コンクールプレス審査員賞、24年ラウリッツ・メルヒオール国際歌唱コンクール第1位。ドブルグ財団から助成を受け、スカーゲン・タレント・アワード2019を受賞した。近年では、ペトレンコ指揮ベルゲン・フィルハーモニック管弦楽団『エレクトラ』第4の侍女に出演したほか、メス・メトロポール歌劇場で『サロメ』タイトルロールに出演。ノルウェー国立オペラ『エレクトラ』第5の侍女、デンマーク王立オペラ『エレクトラ』、『椿姫』アンニーナ、スウェーデンでは『仮面舞踏会』アメーリアに出演。25年ブレゲンツ音楽祭のリサイタルも好評を博す。25/26シーズンはサンタ・チェチーリア音楽院管弦楽団『ワルキューレ』オルトリンデ、メス歌劇場『エレクトラ』クリソテミスに出演。26/27シーズンはザルツブルク・イースター音楽祭『ワルキューレ』オルトリンデ、ノルウェー国立歌劇場『エレクトラ』などを予定している。新国立劇場へは26年『エレクトラ』クリソテミスでのデビューが圧倒的賞賛を集め、27年2月『サロメ』タイトルロールに期待が高まっている。

【ヘロデ】ピーター・タンジッツ（テノール） Peter TANTSITS



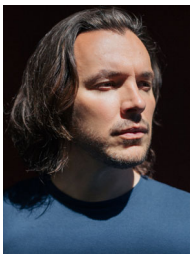
アメリカ出身。シェーンベルク、シュトラウス、ストラヴィンスキー、ベルク、リゲティ、ツィマーマン、ヘンツェ、ノーノ、シュトックハウゼンなどをレパートリーに、ミラノ・スカラ座、ジュネーヴ大劇場、バイエルン州立歌劇場、英国ロイヤルオペラ、ザルツブルク音楽祭などに出演。コンサートではベルリン・フィル、ロンドン響などの主要オーケストラのほか、ロンドン・シンフォニエッタ、アンサンブル・アンテルコンタンポラン、アンサンブル・モデルン、そして創設メンバーであるインターナショナル・コンテンポラリー・アンサンブルなどと共演。現代オペラでは 50 以上の新作の初演に携わる。2019 年、フランダース・オペラ『Les Bienveillantes』世界初演で Opernwelt 誌の年間最優秀歌手にノミネート。近年では、バーゼル劇場、フランダース・オペラの『イントレランツァ 1960』移民、モネ劇場『ファニーとアレクサンデル』（世界初演）オスカー・エクダール、リセウ大劇場での『ポルトボウのベンヤミン』（世界初演）ヴァルター・ベンヤミンなどがある。26/27 シーズンは、アンサンブル・モデルン、ニュー・ヨーロピアン・アンサンブル、クランぐフォルム・ウィーンとの共演でヘンツェを演奏するほか、バーゼル歌劇場『ヘラクレス・マッド』世界初演にリコス役として出演予定。。新国立劇場へは藤倉大作曲『アルマゲドンの夢』クーパー以来の登場。

【ヘロディアス】アレクサンドリーナ・ペンダチャンスカ（ソプラノ） Alexandrina PENDATCHANSKA



ソフィア生まれ。ビルバオ・オペラ『ルチア』でデビューし国際的に躍り出た。ウィーン国立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ベルリン州立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、ベルギー王立モネ劇場、ボリショイ劇場など世界一流の歌劇場に出演し、『コジ・ファン・トゥッテ』フィオルディリージ、『ドン・カルロ』エボリ公女とエリザベッタ、『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラとドンナ・アンナ、『サロメ』タイトルロール、『仮面舞踏会』アメーリア、『マクベス』マクベス夫人、『フィデリオ』レオノーレなど、バロック、古典からベルカント、ヴェルディ、ワーグナーやシュトラウスまでレパートリーとする。近年の主な出演に、サンタフェ・オペラ、ポーランド国立歌劇場『サロメ』タイトルロール、ウィーン国立歌劇場『道化師』ネッダ、エクサン・プロヴァンス音楽祭『ドン・ジョヴァンニ』ドンナ・エルヴィーラ、ウィーン国立歌劇場、モネ劇場、ケルン歌劇場『エレクトラ』タイトルロール、サンタフェ・オペラ『フィデリオ』レオノーレ、アヴィニョン歌劇場、リモージュ歌劇場、ランス歌劇場『マクベス』マクベス夫人、ソフィア歌劇場、ライン・ドイツ・オペラ『トスカ』タイトルロール、モネ劇場『カヴァレリア・ルスティカーナ』サントゥッツァなどがある。新国立劇場では 2023 年『サロメ』タイトルロールに出演している。

【ヨハナーン】コスタス・スモリギナス（バス・バリトン） Kostas SMORIGINAS



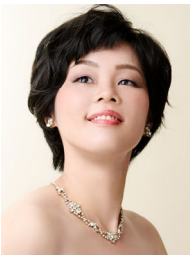
ヨーロッパの歌劇場、音楽祭で活躍するバス・バリトン。リトアニア音楽演劇アカデミーで学び、カーディフコンクールに出場。王立音楽院を卒業後、英国ロイヤルオペラのジェット・パーカー・プログラムに参加。これまでに、英国ロイヤルオペラ『ローエングリン』王の伝令、『ラインの黄金』ドンナー、『ボリス・ゴドゥノフ』シチェルカロフ、ケルン歌劇場、ソフィア王妃芸術宮殿『トリスタンとイゾルデ』クルヴェナール、ローザンヌ歌劇場『エフゲニー・オネーギン』タイトルロール、 ベルリン州立歌劇場、ザルツブルク・イースター音楽祭、英国ロイヤルオペラ、サンタフェ・オペラ、ザクセン州立歌劇場、ノルウェー国立オペラ、ブレゲンツ音楽祭、リトアニア国立歌劇場『カルメン』エスカミーリョ、ルーアン歌劇場『トスカ』スカルピア、ザクセン州立歌劇場『フィガロの結婚』フィガロ、モネ劇場『アレコ』『デーモン』、バイエルン州立歌劇場『ローエングリン』王の伝令などに出演。『サロメ』ヨハナーンはハノーファー、アントワープ、マルメ、チューリヒ、テルアビブで歌っている。26/27 シーズンは、ソフィア王妃芸術宮殿『ローエングリン』王の伝令、リトアニア国立歌劇場『ドン・ジョヴァンニ』タイトルロールに出演。新国立劇場初登場。

【ナラボート】濱松孝行（テノール） HAMAMATSU Takayuki



東京藝術大学音楽学部声楽科卒業、同大学院音楽研究科修士課程（独唱）修了。新国立劇場オペラ研修所第 20 期修了。ANA スカラシップにて、ミラノ・スカラ座アカデミー、バイエルン州立歌劇場オペラスタジオにて研修。日本トスティ歌曲コンクール第 1 位及び日本歌曲賞ほか、第 16 回清水かつら記念日本歌曲歌唱コンクール第 3 位受賞。これまでに『椿姫』アルフレード、『イオランタ』ヴォデモン伯爵、『イドメネオ』タイトルロール、『カルメン』ドン・ホセなどを演じる。モーツァルト「レクイエム」、ベートーヴェン「第九」などのソリストとしても活躍。新国立劇場では『夜鳴きうぐいす』日本の使者1、『ばらの騎士』ファーニナル家の執事、『ボリス・ゴドゥノフ』侍従、『子どもと魔法』ティーポットに出演。26/27 シーズンは『サロメ』ナラボート、『ばらの騎士』テノール歌手に出演予定。二期会会員。

【ヘロディアスの小姓】杉山由紀（メゾソプラノ） SUGIYAMA Yuki



武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。二期会オペラ研修所修了時に最優秀賞・川崎靜子賞・所長賞受賞。ウィーン国際音楽ゼミナール受講、選抜者によるコンクールにて第 3 位、ディプロマ取得。全日本学生音楽コンクール第 1 位・横浜市民賞・ANA 副賞、日光国際音楽祭声楽コンクール大賞・審査員長賞などを受賞。東京二期会『ジューリオ・チェーザレ』タイトルロール、『アルチーナ』ルッジェーロ、『フィガロの結婚』ケルビーノ、『ナクソス島のアリアドネ』作曲家、『ルル』劇場の衣裳係／ギムナジウムの学生、びわ湖ホール『神々の黄昏』ヴェルグンデ、日生劇場『コジ・ファン・トゥッテ』ドラベッラ、東京・春・音楽祭『ローエングリン』小姓、東京交響楽団『サロメ』ヘロディアスの小姓、信長貴富作曲『山と海猫』花月などに出演。新国立劇場では『子どもと魔法』羊飼いの少年／牝猫／りす、『椿姫』フローラ、『オルフェオとエウリディーチェ』アモーレ、『エレクトラ』クリテムネストラの裳裾持ちの女、高校生のためのオペラ鑑賞教室（京都公演）『蝶々夫人』ケートに出演。二期会会員。

新国立劇場 2026/2027 シーズンオペラ

リヒャルト・シュトラウス

サロメ

Salome / Richard Strauss

全 1 幕〈ドイツ語上演／日本語及び英語字幕付〉

【公演日程】 2027 年 2 月 6 日(土)14:00／8 日(月)14:00／10 日(水)14:00／13 日(土)14:00
【会場】新国立劇場 オペラパレス
【チケット料金】 S:28,600 円 ・ A:24,200 円 ・ B:17,050 円 ・ C:10,450 円 ・ D:7,150 円・ Z:1,980 円
【前売開始】 2026 年 11 月 14 日(土)10:00～
※予定上演時間 約 1 時間 40 分(休憩なし)

指 揮	沼尻竜典
Conductor	NUMAJIRI Ryusuke
演 出	アウグスト・エファーディング
Production	August EVERDING
美術・衣裳	ヨルク・ツィンマーマン
Set and Costume Design	Jörg ZIMMERMANN
振付	石井清子
Choreographer	ISHII Kiyoko
再演演出	上原真希
Revival Director	UEBARU Maki

サロメ	ヘドヴィグ・ハウゲルド
Salome	Hedvig HAUGERUD
ヘロデ	ピーター・タンジッツ
Herodes	Peter TANTSITS
ヘロディアス	アレクサンドリーナ・ペンダチャンスカ
Herodias	Alexandrina PENDATCHANSKA
ヨハナーン	コスタス・スモリギナス
Jochanaan	Kostas SMORIGINAS
ナラボート	濱松孝行
Narraboth	HAMAMATSU Takayuki
ヘロディアスの小姓	杉山由紀
Ein Page der Herodias	SUGIYAMA Yuki
5 人のユダヤ人 1	前川健生
5 Juden 1	MAEKAWA Kensho
5 人のユダヤ人 2	新堂由暁
5 Juden 2	SHINDO Yoshiaki
5 人のユダヤ人 3	下村将太
5 Juden 3	SHIMOMURA Shota
5 人のユダヤ人 4	糸賀修平
5 Juden 4	ITOGA Shuhei
5 人のユダヤ人 5	狩野賢一
5 Juden 5	KANOU Ken-ichi
2 人のナザレ人 1	妻屋秀和
2 Nazarener 1	TSUMAYA Hidekazu
2 人のナザレ人 2	秋谷直之
2 Nazarener 2	AKITANI Naoyuki
2 人の兵士 1	三戸大久
2 Soldaten 1	SANNOHE Hirohisa
2 人の兵士 2	大塚博章
2 Soldaten 2	OTSUKA Hiroaki
カッパドキア人	髙田智士
Ein Cappadocier	TAKADA Satoshi
奴隷	花房英里子
Ein Sklave	HANAFUSA Eriko

管弦楽	東京交響楽団
Orchestra	Tokyo Symphony Orchestra

芸術監督	大野和士
Artistic Director	ONO Kazushi

公演情報 WEB サイト https://www.nntt.jac.go.jp/opera/salome/
【チケットのご予約・お問い合わせ】 新国立劇場ボックスオフィス TEL:03-5352-9999（10:00～18:00）
新国立劇場Webボックスオフィス https://nntt.pia.jp/

PRESS RELEASE

2026/2027　サロメ

本公演はレパートリー作品です。過去の上演の舞台写真を宣材としてご提供致します。



【1】



【2】



【3】



【4】



【5】



【6】



【7】



【8】



【9】



【10】



【11】

新国立劇場『トスカ』2011 年公演より　撮影：三枝近志